

私立大学図書館協会 1999年度第1回国際図書館協力委員会議事要録

日時：1999年4月28日(水) 13:30～16:30

場所：慶應義塾大学三田メディアセンター新館6階会議室

出席者：大迫 重治 (東海大学)

中元 誠 (早稲田大学)

加藤 恭輔 (中京大学)

鈴木 敏之 (関西学院大学)

加藤 好郎 (委員長 慶應義塾大学)

議事に先立ち、委員長 加藤 好郎が開会の挨拶を行った。次に出席者全員が自己紹介をした。

<協議事項>

前回確認された委員会の活動方針の1つである事業実施項目(①日本語資料の寄贈搬送事業 ②海外との相互協力 ③図書館員の研修のための人的交流 ④会議およびシンポジウム等の開催)のそれぞれについて加藤(好)から現状および事業展開の方向性に関する簡単な説明が行われた。①～④についてワーキンググループを設置し、その立ち上げを9月の総会で承認してもらう方向で検討していくが、委員会としては各委員が各項目を担当するのではなく委員全員でしばらくすすめていくことを確認した。

以下は各実施項目ごとの協議内容をまとめた。

1. 日本語資料の寄贈搬送事業について

この事業における(株)カルチャージャパンによる年間100万円の支援の打ち切り後、どのように事業をすすめていくべきか検討された。相手校選択、予算規模、搬送資料のリスト化、資料の一時保管場所確保について問題提起がなされた。

また、現在東西の部会長校が行っているこの事業の運営そのものを委員会に移行していく方針についてもあわせて意見交換がなされた。(株)カルチャージャパンの支援継続のまま受け継ぐことは可能ではあるが、予算面で懸念が残る為、現状のまま搬送業務をあずかることが確認された。事業移管の手続きは下記の予定で考えていく。

- ① 6月 私立大学図書館協会東西地区部会で提案する
- ② 8月 東西合同役員会に諮る
- ③ 9月 総会で承認を得る
- ④ 10月 搬送事業の移行

さらに、承認以降の活動方針についても次のとおり確認された。

- ① 受け取り先リスト作成に向けての情報収集
- ② 搬送資料を保管しておく書庫の確保（私大協で予算化する）
- ③ 潜在的な寄贈図書調査(アンケート)

①については各委員が各機関にあたるという方向で担当が割振られた。②については主旨を明記したアンケート調査を行うことが確認された。

2. 海外との相互協力（ドキュメントデリバリーサービス）について

私立大学としてどのような協力ができるのか検討された。当面は情報提供と国際的な図書館協力の窓口としての業務を行うが、より具体的な方針で話をすすめていくことが確認された。

3. 図書館員の研修のための人的交流について

委員会が海外へ図書館員を派遣するあるいは海外から受入れるといった活動はその目的、経路、予算そして将来的な展望までを見据えた方針でなければならないと加藤(好)から説明があった。使節団を送ることも考える。(例:電子図書館の見学あるいは外国の学会への参加等)。

4. 会議およびシンポジウム等の開催

3. と同様の見地から特に予算、委員会の情報把握の点でさらに継続した議論が必要だということが確認された。研究大会への講演者の招待も考える。(例:NCC, ARL, LC等)。

*次回 1999年6月24日(木) 14:00~17:00 東海大学